

VS 隊スカウトの皆さんへ

突然の地震で家が倒壊し、電気、ガス、水道が止まったら、君はどうする？

30年前、1995年の阪神淡路大震災では、実際に上記の事態が発生した。復旧まで数日～数か月の間ばかり、3か月以上の避難所生活。2011年の東日本大震災でも6か月以上の避難所生活を余儀なくされた。2024年の能登半島地震では今もその影響が続いている。日本各地では、毎年のように台風・大雨・大雪・噴火など、様々な自然災害に見舞われている。

それらの災害に対して、ボーイスカウトたちもキャンプ等の普段の活動経験を活かし、協力していると聞く。今後30年以内に70～80%の確率で南海トラフ大地震が発生する可能性も耳にする。いろいろな災害への「そなえ」として、**予め災害を知り、それらを想定できること、さらに「防災」への意識を高め、普段の活動に取り組むことも大切だ。**

今回、兵庫連盟創立75周年を祝い、兵庫の仲間たちと**共に成長しよう**との思いで**振興大会を4月29日に開催**することになった。阪神淡路大震災から30年でもあり、**大会テーマは「防災」**とした。この大会を皆で作り盛り上げたい。

そこで、**VS 隊スカウトの皆さんにも「出店」をお願いしたい。**皆が「防災」への関心をもち、意識を高め、仲間やカブスカウトやビーバースカウトたちが「防災」について知り、考える場となることを期待している。既に地域や団、隊で取り組んでいるスカウトもいると思うので、これまでの活動を兵庫の仲間に披露しても良いし、新たな取り組みを行っても良い。

会場は神戸市須磨区にある須磨学園。グラウンドや体育館、ピロティ、バラ園などのスペースを借りて、体験ゲームや情報開示が展開可能だ。また、1ブースにつき¥3,000の活動費を支援する。

防災に関わる出店プログラムのカテゴリを以下に示す。

- ①**防災体験ゲーム**
- ②**防災グッズの工作体験**
- ③**防災グッズの工作物展示**
- ④**防災に関する活動紹介、調査や研究の掲示や発表**
- ⑤**防災に関するプロジェクト・プログラム実施実績の紹介**
- ⑥**その他**

上記のカテゴリ毎にエリア分けし、利用施設や場所を振りわけろ。

VS 隊は、今回のプロジェクトのチーフが、**所属隊の議長および隊長から許可を得たうえで、2月28日(金)までに「google form」への入力をするここと。**-----

【VS 隊 エントリーシート】 (google form の入力情報)

チーム名 :

プロジェクトチーフの氏名 :

プロジェクトチーフの連絡先

(電話番号 : _____、メールアドレス : _____)

プロジェクトチーフの所属団 :

メンバーの所属団と氏名 (「神戸第 8 0 団須磨太郎、西宮第 1 0 団佐倉花子、姫路第 6 団市川次郎、姫路第 6 団市川三郎」のようにすべて記載すること) :

プロジェクトチーフ所属団の隊長の氏名 :

プロジェクトチーフ所属団の隊長の連絡先

(電話番号 : _____、メールアドレス : _____)

カテゴリ : _____、プログラム名 :

概要 :

その他 (質問、意見、要望など) :

VS 隊用 URL…<https://forms.gle/TMeaDoPqAyrMsMWN9>

以上